

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における ホストタウン登録申請について

### 1. ホストタウンについて

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の開催に向けて、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図ることを目的として国が推奨している。

一次申請 平成27年12月11日まで

※笠間市は、タイ王国を対象国としたホストタウン登録申請を行った。

【結果】 継続審査

二次申請 平成28年5月19日まで

三次申請 平成28年10月末まで

### 2. 笠間市ホストタウン計画について

名称 笠間市とメーファールアン財団を通じた国際交流事業

内容 ①笠間焼陶芸家の派遣及びタイ王国陶芸研修生の受け入れ  
②タイ王国在京大使館職員等を招き、タイ王国の歴史や文化の小中学校での学習  
③日本人オリンピック・パラリンピアンを小中学校に招き、講演・競技体験の実施  
④タイ王国陶芸品を笠間陶芸美術館などで展示  
⑤タイ王国選手と笠間市民の交流（スナッグゴルフ等）  
⑥タイ王国選手団による学校訪問 等

笠間市は、タイ王国メーファールアン財団と「笠間市とメーファールアン財団による陶芸における協力関係強化に関する覚書」を平成27年4月29日に締結し、笠間市から陶芸家の派遣、タイ王国から研修生の受け入れ等、メーファールアン財団を通じて積極的な交流活動を行っています。

### 3. 一次申請後の動き

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が発行する事前トレーニング候補地ガイドに、宍戸ヒルズカントリークラブを練習施設及び宿泊地として登録した。
- ・タイ王国ゴルフ協会に毎年6月に宍戸ヒルズカントリークラブで開催する日本ゴルフツアー選手権を視察するよう案内状を郵送した。
- ・市長が在京タイ王国大使館を訪問し、バンサーンブンナーク駐日大使から、事前キャンプについて可能な限り協力すること及び陶芸分野の交流活動のみならずスポーツ分野やビジネス分野を含め市民レベルの交流を深めたい旨の回答を得た。
- ・タイ王国の関係者向け、笠間市及び宍戸ヒルズゴルフクラブを紹介するPRパンフレット（英語・タイ語）を作成した。
- ・タイ王国スポーツ庁からの事前キャンプに係る笠間市の支援体制等に関するアンケート調査に回答した。
- ・メーファールアン財団のディスナダ・ディスクル殿下が、市長と懇談（平成28年4月）し、タイ王国ゴルフ協会の事前キャンプ誘致実現に向け帰国後、笠間市の意向を関係機関に伝える旨の回答を得た。

### 4. 今後の対応

- ・オリンピック競技・パラリンピック競技は、市民に多くの夢と感動を与えることができる。
- ・開催期間中は多くの外国人が訪れ、国際交流や観光につながる。

このことから、一次登録申請の結果は、「相手国との交渉の進捗等を待つこととし継続審査」となっているが、二次登録において上記3を補足して再度申請する。

また、笠間市は、タイ王国スポーツ庁、同オリンピック協会等のタイ王国関係機関に対するPRを行うとともに、国内の関係機関・団体等へ事前キャンプ実現に向けた働きかけを行う。